

事業所名

YOUKIチャイルドアカデミー十九軒屋

支援プログラム（参考様式）

作成日

2025年

2月

26日

法人（事業所）理念		はぐくまれるべき子ども達、高齢・障がいにより介護を必要とする方、自分らしく働くことのできる場所を探している方。そして、そんな方達を支えている家族や支えることを仕事にしている方。そんなすべての人たちの、自己実現のさまたげになる問題を解決し続けていくことで、誰もが自分の意思で決めたことに挑戦できる地域社会をめざします。	
支援方針		将来の自立に向けた力をつけていく療育を行います。自立といっても一般就労、障害者雇用、就労継続支援A型・B型、生活介護等行き先はそれぞれと考え、その子の状態、発達段階に沿った自立した力をつけていく支援を行います。その力を「生活力・就職力」と考えています。「生活力・就職力」は料理ができる、外出ができる、時間に合わせた行動や切り替えが出来る等自立したときに日常生活を過ごす力です。一つ一つを子ども1人1人の状態に合わせて5領域視点のアセスメント、支援、再アセスメント、支援を繰り返しながら、その情報を職員が共有しながら子ども達の支援を行います。	
営業時間		平日：10：00-19：00 土曜日祝日長期休暇：8：15-17：15	送迎実施の有無 あり
支 援 内 容			
本人支援	健康・生活	<ul style="list-style-type: none"> ・クッキングやおやつ作りを行い、調理道具の安全な使い方や正しい扱い方について理解する事ができるようになる。 ・楽しみながら行うことで栄養バランスや、良い食事を意識する事ができるようになる。 ・自身の持ち物や使用した物を、片付け方法や場所、タイミング、手順など視覚的に提示して行く事で、物の大切さや自主的に管理することに意識を向けさせていく。 ・次のプログラムに切り替えて取り組めるように、視覚、聴覚に動きかけ見通しを立てて構造化したスケジュール表や、児童に合わせた切り替えの支援を行う。 ・定期的に持ち物を確認する習慣を身に付け、忘れ物を減らすことができる。 ・身だしなみの乱れに気づき、自主的に整えることができるようになる。 	
	運動・感覚	<ul style="list-style-type: none"> ・公園や体育館で体を動かす活動を設け、運動を楽しむことができるように支援する。 ・フィットネスやダンスを活動に取り入れ、全身を使った動きをスムーズに行い、一定の姿勢を維持したり体幹やバランスを保つ事ができるように支援する。 ・工作や手芸を行い、指先を使った細かな作業に慣れ結ぶ、巻く、絞る、摘むなどの細かな作業を取り入れ、指先の力加減や動かし方を練習していく。 ・目標物や周囲の物との距離を把握し、接触を回避する事ができるように支援する。 ・工作道具、運動器具を扱う事に慣れ、適切に使用できるように支援する。 ・細かな作業を行う中で集中力を高める。 	
	認知・行動	<ul style="list-style-type: none"> ・レクリエーションを通して、楽しめるゲームを行いながら複数の選択肢の中から場に合った行動を選ぶ練習をしていく。 ・アートセラピーや工作物等で様々なテーマに沿ってイメージを広げたり、アイデアを出し表現できる力を支援する。 ・身のまわりの出来事に対してどのような解決方法があるかを考えたり、他者と協力したりする機会を設けていく。 ・外出時の集団行動で、ルールやマナーを身につけられるよう支援をしていく。 	
	言語 コミュニケーション	<ul style="list-style-type: none"> ・自分の思いを言葉や表情で伝える事ができるようになる。 ・絵カードなどを使用し、相手の表情や気持ちについて皆で考えていく練習を行う。 ・他者に合わせて意見を変える事ができた際にはしっかりと賞賛していく。 ・どう思っているのか、何を感じたのかについて言葉にしたり、紙に書いてまとめたりする事に慣れる練習を行う。 	
	人間関係 社会性	<ul style="list-style-type: none"> ・活動で行われているルールを理解し、守って過ごす事ができ、ルールが設定されている背景や意図を読み取り、他児童との関わりに意識を向けていく機会を設ける。 ・小グループで協力する活動を経験する機会を設けながら、他児童との関わりに意識を向けていく機会を設ける。 ・自分自身を知り、長所と短所を理解したり自分への理解を深め、他者とのコミュニケーションに活かす事ができるようになる。 ・他者と力を合わせ活動に取り組む事で、自主的に行動に移す事ができるようになる。 ・地域イベントへ参加し、交流の機会を増やしていく。 	
家族支援	<ul style="list-style-type: none"> ・具体的な場面を想定しながら、家庭で実施できる対応方法を提案・助言する。 ・送迎時や半年に1回ペースで面談を行い、学校や家庭の様子の共有や、子育てに関する困りごとに対する相談援助を行う。年1回以上家族会を開催し、家族同士の情報交流の場を作る。 ・レスパイトや保護者の就労に対応するための支援を行う。 	移行支援	<ul style="list-style-type: none"> ・学校や事業所での様子、対応方法等についての共有を図り、将来像に合わせた一貫した対応を行うことができるようにする。 ・自立に向け関係機関と連携を行い、発達ステージに合わせた情報をお伝えする。
地域支援・地域連携	<ul style="list-style-type: none"> ・各関係機関との情報共有に基づき、具体的な場面を想定した上で、児童・生徒への関わり方を具体的に提案・助言する。 	職員の質の向上	<ul style="list-style-type: none"> ・外部講演会や各種勉強会、研修への参加。 ・支援方法、支援方針についての内部研修、情報共有。 ・職員一人一人に合わせた教育計画の策定。
主な行事等	避難訓練、社会見学、餅つき、夏祭り、プール、ハロウィン、季節に合わせた活動、買い物練習、公共交通機関に乗る練習、就労体験		